



まきび進路だより

令和7年7月1日発行
岡山県立倉敷まきび支援学校
進路指導係

◎高等部現場実習がありました

高等部1、2年生は6月2日～13日の2週間、3年生は20日までの3週間に渡って、現場実習を行いました。1年生は「初めての校内での実習」、2年生は「初めての一人で校外での実習」、3年生は「進路先を決めていくための実習」でした。それぞれの学年で目標をもって取り組んでいました。

成果があった人・課題が見つかった人、それぞれの結果があったと思います。決して易しいものではなかった実習の経験を自分のものとして活かしていけるよう、これから自分でどのように考えて、どのように進んでいくかが大切です。今回の実習の経験を、次の実習に活かせるように学校でも取り組んでいきます。

【実習の様子】

高等部1年生校内実習



高等部1年生は初めての校内実習でした。
職業コースはひも通し、くくり、検品等の作業を分担しながらペットボトルホルダーを製作しました。
生活コースは布の裁断や箸の袋詰め、サンプルはがし等を行いました。丁寧に作業することを意識して取り組みました。

高等部2年生校外現場実習(体験実習)



高等部2年生は初めての個別での校外現場実習でした。
実習先の職員さんの指示を受けて仕事をしたり、知らない人ばかりの中で休憩時間を過ごしたりと、緊張の2週間だったと思います。保護者の方も不安の中、送り出していただいたことと思います。実習先の方から評価を聞くと、今まで身に付けてきた力が発揮できている姿や、社会で働いていく上で今後身に付けなければならない力が見えてきます。卒業後の生活や自立に向け、これから学校や家庭で課題を意識し、様々なことに取り組み、スキルアップしていったほしいです。

高等部3年生校外現場実習(進路先を決めるための実習)



高等部3年生は卒業後の進路先を決めるための現場実習でした。
多くの生徒が2年生で体験として行ったことのある事業所での実習で、実際に働く時間や曜日で働いたり、仕事内容も複雑になっていたりする生徒もいました。昨年度からの成長も見られ、実習先から良い評価を受けることができた生徒も多く見られました。この評価に満足せず、自分の夢を叶えるためにより高い目標をもち続けていったほしいです。

A 中学部 通学体験

A 中では、高等部での自力通学や将来の公共交通機関の利用に向けて、学期に1回、1週間の通学体験を保護者の協力を得て実施しています。1年生から3年生までの希望者が参加し、自宅の最寄り駅から電車を乗り継いで登校します。

1年生は、必ず保護者に同行していただき、親子で一緒に通学ルートや公共交通機関の利用方法、マナーを確認します。この1年生での通学体験を通して、課題となったことを、日頃から経験や練習をしたり、徐々に支援を減らしたりなど、安全に登校できることを目指して3年間をかけて取り組みます。

2年生からは、担任と相談の上、保護者の判断で徐々に同行を減らしていき、生徒自身が人の動きや駅の案内等を確認して安全に登校できるようになることを目指します。1・2年生にとっては、通学体験が自力通学への意識付けの良い機会になっています。

3年生では、2学期から希望者は下校時も電車を利用し、高等部での通学をより意識した体験を行っています。3年生の生徒から、「緊張した。でも、電車で通学したい。」「高等部の電車通学が楽しみ。」などの声が聞かれると、経験が自信につながっていることを感じます。

電車の乗り換えが何度もあったり、ホームと電車の間に段差があったり、満員電車で座れなかったり、時には電車が遅れたりなど、生徒たちには慣れないことの連続ですが、想定外のことを想定内にしていく経験の積み重ねを大切にに取り組んでいます。

